

気候情報

2012年9月の日本の天候

- 北日本中心に記録的な高温
- 台風第16, 17号による大雨・暴風・高波・高潮
- 東日本で日照時間がかなり多く、北・東日本の一部で中旬にかけて少雨

9月の天気概況

上・中旬は、日本の東海上で太平洋高気圧の勢力が非常に強く、北・東日本に張り出したため、気温がかなり高く、北日本の月平均気温は統計を開始した1946年以降で最も高くなり、記録的な高温となった。また、秋雨前線の日本付近での活動は一時的で、東日本の月間日照時間はかなり多く、東日本日本海側では統計を開始した1946年以降で最も多くなった。東北地方から北陸地方、関東甲信地方の一部で降水量が少なく、7月下旬後半からの少雨の状態が続いた。西日本では、月の前半は南からの湿った気流の影響により雲が広がりやすかったが、沖縄・奄美では、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

月の中頃には、台風第16号の影響により、西日本太平洋側から沖縄・奄美にかけて大雨・暴風となった。また、沖縄・奄美と九州を中心に高潮となった。

下旬には、日本の東で太平洋高気圧が非常に強い状態は収まり、北日本を中心とする記録的な高温は解消した。旬の終わりは、台風第17号の影響により、全国的に大雨・暴風・高波・高潮となった。

上旬：日本の東海上で太平洋高気圧の勢力が非常に強く、北・東日本に張り出したため、北・東日本では晴れて暑い日が多く、北日本の旬平均気温は統計を開始した1961年以降で最も高くなるなど記録的な高温となった。沖縄・奄美も、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。一方、上空の寒気の影響や、南からの湿った空気の影響により、西日本を中心に雲が広がりやすく、大気の状態が不安定となり所々で雷雨となった。また、旬の中頃と終わりには、日本海の前線の影響により、北日本から西日本にかけての日本海側で雨が降った。

中旬：上旬に続いて、日本の東海上で太平洋高気圧の勢力が非常に強く、北・東日本では晴れて暑い日が多く、北日本の旬平均気温は統計を開始した1961年以降で最も高くなるなど記録的な高温となった。前半は、西日本と沖縄・奄美でも高気圧に覆われて晴れた所が多かった。15～17日にかけて、台風第16号の影響により、西日本から沖縄・奄美では大雨・暴風・高波・高潮となった。その後は台風から変わった温帯低気圧や日本海の前線に向って南から湿った空気が流れ込み、18日は西日本中心に、その後も旬の終わりにかけて北・東日本で大気の状態が不安定となり、18日は東海地方で大雨となり、18～19日には関東地方と東海地方で竜巻が発生した。

下旬：東・西日本では天気は数日の周期で変化し、北日本と沖縄・奄美では、気圧の谷や湿った空気の影響により曇りや雨の日が多かった。日本の東で太平洋高気圧が非常に強い状態は収まり、記録的な高温は解消した。22～24日にかけて、本州の南岸の前線を低気圧が東進した影響により、北日本から西日本にかけての太平洋側を中心に曇りや雨となり、東日本太平洋側では大雨となった所があった。旬の終わりは台風第17号の影響により、全国各地で大雨・暴風・高波・高潮となった。

9月の気候統計

月平均気温：北・東日本でかなり高く、北日本で平年を3℃以上、東日本では平年を1℃以上上回った。西日本では高かった。一方、沖縄・奄美では低かった。

月降水量：東日本日本海側、沖縄・奄美で多かった。北日本日本海側、東日本太平洋側、西日本では平年並で、北日本太平洋側で少なかった。

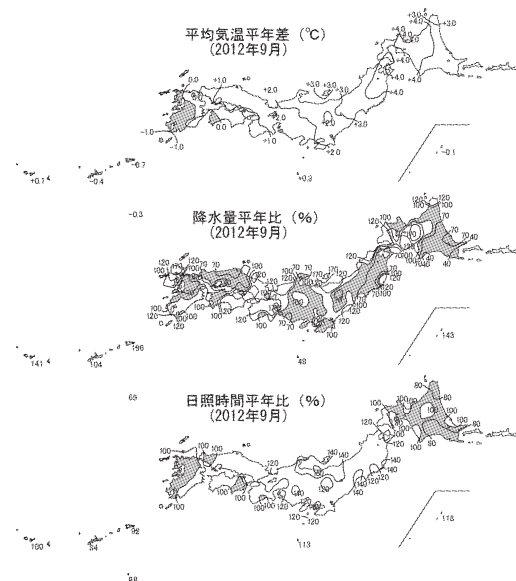
月間日照時間：東日本でかなり多く、北日本日本海側、西日本太平洋側で多かった。北日本太平洋側、西日本日本海側では平年並で、沖縄・奄美で少なかった。

(気象庁観測部情報管理室)

9月の記録(1位更新のみ)

- ・月平均気温高い方から(℃)
札幌 22.4 仙台 23.9 など51地点
- ・月間日照時間多い方から(時間)
深浦 202.4 若松 192.3 など4地点

2012年9月の平年差(比)図



注) 陰影の部分は、平年より低い(少ない)地域を示す。